



・「流氷碎氷船・ガリンコ号Ⅱ」

「日本で唯一流氷がくるオホーツク海」
冬は流氷を大きなドリルで砕きながら進み
夏は手ぶらで来て楽しめる、フィッシング
クルーズが体験できます。

・「北海道立オホーツク流氷科学センター GIZA」

一年中、本物の流氷が見られる科学館
で、流氷のある-20℃の体験室や、流
氷の使者クリオネが約1000匹以上い
る「クリオネハウス」は圧巻です。

・「北海道立オホーツク流氷公園」

「試みて進化する公園」をキャッチコピー
に、「あおぞら交流館」「海と大地の遊び場」
など利用者に合わせた各施設があり、行楽
期にも様々な催しが開催されます。

・「ゴマちゃんランド・オホーツクとっかりセンター」

野生のアザラシを保護し、自然復帰へ
のトレーニングなど行う施設です。
1日5回のフィーディングタイムでは、
アザラシに触れることができます。

【弦楽器部門】

Okhotsk Mombetsu music seminar 2016

■ 開催趣旨

国内を代表するクラシックの音楽家を講師に招き、その門下生やクラシック音楽を志す学生など、音楽を学びたい多くの練習生が集い学びあえる「オホーツク紋別音楽セミナー」を開催いたします。

私たちが息づくこのオホーツク紋別の地をやすらぎや生きがいを感じる場として育んでいくことが大切であると考えています。地域の人々が国際コンクールでの活躍や将来を担う若き演奏家を育むことが地域文化の刺激になり、又優れた音楽にふれることを求めて同好の多くの人々が集い「人」「物」「情報」の交流が盛んになることにより、地域の発展や街づくりに結びついて行くものと期待するものです。

音楽を通じて「オホーツクを文化の薫り高い地域に」を合言葉にオホーツク紋別の人々が豊かな音楽になれ親しみ、優れた音楽家と一緒に育て応援することが我が街の誇りとなるような街づくりを目指します。

■ 催／管／後援

- 主催／紋別市教育委員会
- 主管／オホーツク紋別音楽セミナー実行委員会
- 後援／紋別市

■ 開催場所【セミナー会場】

紋別市民会館	紋別市文化会館
〒094-0006 紋別市潮見町1丁目4番3号 TEL.0158-24-2416	〒094-0005 紋別市幸町3丁目1番8号 TEL.0158-24-2111 (内線414) 夜間・土日祝日: TEL.0158-23-7363

[セミナーホームページ http://omms.info/](http://omms.info/)

【講習概要】

講習内容

受講料

●各講師による弦楽器（ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ）のレッスン。
●講師及び受講生によるコンサート

【道外方面】
(東京羽田・紋別往復航空運賃、滞在期間中の宿泊費、朝食代、バーベキューパーティー、交流会、その他込み)

●ヴァイオリン部門／173,000円
●ヴィオラ・チェロ各部門／各195,600円 (楽器座席料込み)

ただし、宿泊形態が3人以上同室の場合の金額となります。ツイン・シングルの宿泊形態の場合は加算されます。
(宿泊形態が2人の場合は、往復航空運賃を含めプラス3,600円。シングルの場合は、航空運賃を含めプラス12,000円となります)

【道内方面】
(滞在期間中の宿泊費、朝食代、バーベキューパーティー、交流会、その他込み)

●ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ各部門／各128,000円

ただし、宿泊形態が3人以上同室の場合の金額となります。ツイン・シングルの宿泊形態の場合は加算されます。
(宿泊形態が2人の場合は、プラス3,600円。シングルの場合はプラス12,000円となります)

※各部門とも、昼食代、夕食代は含まれておりません。
※道内方面の受講料には、交通費は含まれおりません。
自己負担となりますのでご了承願います。
※楽器の機内持ち込みについて、ケースの形状により、楽器席を導入するか、手荷物カウンターにて受託手荷物として預けなければなりません。
樂器席は、往復22,600円で確保しておりますので、申し込み時に、別途申し込みください。
※受講料については、最終参加人数により若干変更する場合もありますので、ご了承願います。
※減額対象は宿泊料のみですので、ご了承願います。

申込先

申込開始

申込締切

受講曲

宿泊場所

オホーツク紋別音楽セミナー実行委員会にお申し込みください
TEL 0158-24-2416 FAX 0158-23-5603
メールアドレス : shakaikyouiku@city.mombetsu.lg.jp

平成28年6月1日(水)

平成28年7月22日(金)

受講決定者には、受講曲や日程等について後日事務局よりご連絡いたします。
※伴奏譜は必ず各自で用意ください。

紋別プリンスホテル
〒094-0004 北海道紋別市本町7丁目3-26 TEL:0158-23-5411
※部屋割りに関しては、係の者に一任させて頂きますのでご了承願います。

●お申込み・お問い合わせ●
オホーツク紋別音楽セミナー実行委員会
〒094-0006 紋別市潮見町1丁目4-3 紋別市民会館内
TEL.0158-24-2416 FAX.0158-23-5603
※都合により内容が変更される場合がありますので予めご了承ください。

受講生募集のご案内

【申込期間】6/1(水)～7/22(金)

■講師プロフィール

※都合により講師陣の内容に変更がある場合がありますので予めご了承ください。

《弦楽器部門》講師陣



■ヴァイオリン(ディレクター) 澤 和樹 Kazuki Sawa

東京藝術大学学長／英国王立音楽院名誉教授／洗足学園音楽大学客員教授／大阪音楽大学客員教授

東京藝術大学大学院修了。「安宅賞」受賞。ロン=ティボー、ヴィエニアフスキ、ミュンヘンなどの国際コンクールに入賞。イザイ・メダル、ボルドー音楽祭金メダル受賞などヴァイオリニストとして国際的に活躍。1990年、澤カルテットを結成。日本音楽コンクール、宗次エンジェル、ティボール・ヴァルガ、ロン=ティボー、ロンドン弦楽四重奏コンクールなど国内外のコンクールの審査員を歴任。

■ヴァイオリン フェデリコ・アゴスティーニ Federico Agostini



国際的に活躍するヴァイオリニストで、ソリスト、室内楽奏者、教育者。イタリアのトリエステ生まれ。6歳の時祖父からヴァイオリンの手ほどきを受け、トリエステとベネチアの音楽院、さらにシナのギニア音楽院で学び、16歳でカルロ・ゼッキの指揮のもと、モーツアルトの協奏曲を弾いてデビュー、数多くのコンクールに優勝、国際的に輝かしい活動を開始する。1986年からはイムジチのコンサートマスターを務める。

ヨーロッパ、アメリカ、日本など、世界各地の国際音楽祭に参加。2004年にアミーチ四重奏団を結成。

2012年8月より、ニューヨーク州イーストマン音楽院の教授。2016年度は東京藝術大学で一年客員教授として、教鞭をとっています。



■ヴァイオリン 漆原 朝子 Asako Urushihara 東京藝術大学音楽学部准教授

第2回日本国際音楽コンクール優勝。ジュリアード音楽院卒業。'88年N響定期公演及びニュークリサイタルデビュー。その後は欧州に拠点を移して、ザルツブルク等の音楽祭に多数登場するほか、内外の一流オーケストラとも数多く共演している。シーマン、ラームス、シユーベルトのヴァイオリン作品全集のCDがそれぞれ絶賛を博している。

■ヴァイオリン 小川 有紀子 Yukiko Ogawa 東京藝術大学非常勤講師、常磐木学園非常勤講師



東京藝術大学音楽学部附属音楽高校を経て、東京藝術大学、英國王立音楽院の大学院をいずれも首席卒業。第28回ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリンコンクール入賞。これまでに、東儀幸、矢嶋佳子、日高毅、澤和樹、ジョルジュ・パウクの各氏に師事。仙台フィルハーモニー管弦楽団、紀尾井シンフォニエッタ東京、セレーノ弦楽四重奏団奏者。



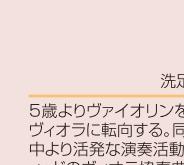
■ヴァイオリン 澤 亜樹 Aki Sawa

東京生まれ。東京藝術大学附属音楽高等学校、同大学首席卒業。同大学院在学中、英國王立音楽院に留学。ロンドン交響楽団研修生となる。2014年、東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了。学内外における各賞の上位授賞など、輝かしい功績をもつ。2015年4月より東京藝術大学音楽学部室内楽科非常勤講師、現在に至る。これまでにヴァイオリンを小林美恵、故鷺見四郎、若林暢、ベラ・カトーナ、ジェラール・ブーレ、ジョージ・パウク、ベーター・コムローシュ、玉井菜採の各氏に、室内楽を岡山潔、大野かおる、河野文昭、山崎伸子、川崎和憲の各氏に師事。



■ヴァイオラ(プロデューサー/ディレクター) 菅沼 準二 Junji Suganuma 東京藝術大学名誉教授

東京藝術大学卒業、巖本真理弦楽四重奏団に長く在籍した後1976年NHK交響楽団の首席ヴァイオラ奏者として入団。1990年にN響を退団後、東京藝術大学教授に就任。現在は、東京藝術大学名誉教授、ジャパン・ストリング・クアルテット、東京クラシス・アンサンブルのメンバー。



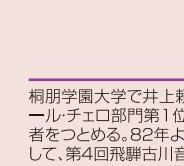
■ヴァイオラ 大野 かおる Kaoru Ohno 東京藝術大学、東京音楽大学、洗足学園音楽大学講師、大阪芸術大学客員教授

5歳よりヴァイオリンを始める。東京藝術大学附属音楽高校入学、ヴァイオラに転向する。同大学を経て東京藝術大学大学院修了。在学中より活発な演奏活動を開始。藝大モーニングコンサートではダヴィッドのヴァイオラ協奏曲を日本初演。ターティス国際ヴァイオラコンクール(イギリス)では2つの特別賞を、東京国際音楽コンクール「室内樂」では第一位入賞、併せて2つの特別賞も受賞。ソロと室内樂を中心に国内外のコンサートや音楽祭で幅広く活躍、著名なアーティストとの共演も数え切れない。アンサンブル of トキヨウでは1986年の創立以来、中心的なメンバーとして活躍する。



■ヴァイオラ 市坪 俊彦 Toshihiko Ichitsubo 東京藝術大学准教授／桐朋学園短期大学、沖縄県立芸術大学非常勤講師

東京藝術大学附属高等学校、同大学を経て同大学大学院を修了。定期的なリサイタル開催のほか、SAWAQUARTET、紀尾井シンフォニエッタ東京、東京クラシス・アンサンブル等で活躍。ソロ、室内楽、オーケストラの分野で幅広く活動している。



■チェロ 苅田 雅治 Masaharu Kanda 東京音楽大学教授／桐朋学園大学講師

桐朋学園大学で井上頼豊氏に師事。73年第42回日本音楽コンクール・チェロ部門第1位、82~90年東京都交響楽団首席チェロ奏者をつとめる。82年よりニューアーツ弦楽四重奏団に参加し、団として、第4回飛騨古川音楽大賞受賞賞、94年度文化庁芸術祭賞、第13回中島健蔵音楽賞を受賞。個人としても第11回中島健蔵音楽賞受賞。国内の主要現代音楽祭に常時出演、独奏者としての評価も高い。05年秋、弦楽四重奏団クワトロ・ピアチエリを結成。H22年度文化庁芸術祭大賞受賞。



■チェロ 中木 健二 Kenji Nakagi 東京藝術大学音楽学部准教授

東京藝術大学を経て、パリ国立高等音楽院、ベルン芸術大学の両校を首席で卒業。10年より14年3月までフランス国立ボルデー・アキテーズ管弦楽団首席奏者を務める。2005年第5回トスカッソ国際チェロ・コンクール第1位ほか受賞多数。使用楽器はNPO法人イエロー・エンジエルより貸与されている1700年製ヨーゼフ・ガルニエ。紀尾井シンフォニエッタ東京メンバー。

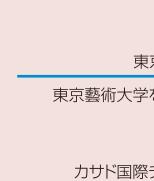
Okhotsk Mombetsu music seminar 2016

【オホーツク紋別音楽セミナー 2016】



■ピアノ 蓼沼 恵美子 Emiko Tadenuma 洗足学園音楽大学、桐朋学園芸術短期大学、吉祥女子高等学校芸術コース講師

東京藝術大学附属音楽高校を経て、同大学を首席卒業。「安宅賞」受賞。同大学院修士課程修了後、ロンドンに留学し、マリア・クルチオ女史に師事。ミュンヘン国際コンクール二重奏部門で第3位入賞。アンサンブルピアニストとして著名アーティストと多数共演。国内外の音楽祭に招聘されるほか、NHK-FM、BBC等にも出演。



■ピアノ 鳥羽 亜矢子 Ayako Toba 東京藝術大学弦楽科伴奏助手、指揮科演奏研究員

東京藝術大学を経て、米国インディアナ大学にて研鑽を積む。ヤーノシュ・シュタルケル氏、ミリアム・フリード氏のアシスタントピアニスト、06年以降は国内外の弦楽セミナー、カサド国際チェロコンクール等の公式ピアニストを務める。



■ピアノ 谷合 千文 Chifumi Tanai 東京藝術大学弦楽科伴奏助手、共立女子大学非常勤講師

都立芸術高校を経て東京藝術大学、同大学院室内楽科を修了。日本フルートコンヴェンション、二期会オペラ研修所等で公式伴奏者を務める。これまでにピアノを林美奈子、矢野裕子、佐藤俊、室内楽を岡山潔、植田克己、松原勝也、ゴルドベルク・山根美代子、歌曲伴奏を平野忠彦の各氏に師事。



《受講者の声》

植松 優さん (東京藝術大学)

私は今回2回目の参加でした。参加させて頂いていつも感じるのは紋別のスタッフの皆さんの温かさです。会場まで車を出していただきたり、バーベキューの用意をしてくださったり等、とても楽しくセミナーを受講する事が出来ました。

また、レッスンもとても印象に残っています。密度の濃い、素晴らしいレッスンを受けることが出来るのは私にとって大変勉強になりました。このような素敵なか経験をさせて下さった紋別の方々には本当に感謝しています。また参加出来れば、と思います。ありがとうございました。

川守田 祐利さん (東京藝術大学)

初めて参加しました。猛暑の東京と比べて夜は寒いくらいの過ごしやすい気候で、ホテルも清潔で食事もおいしく、最高の環境でした。レッスンはもちろんですが、市内の小・中学校で弾かせただけたり、成果発表会があったり、たくさんの刺激をいただいて充実した毎日を過ごせました。ご指導してくださった講師の先生方とスタッフの方々に心から感謝しています。